

通信教育部 経営情報学部 システム情報学科 情報数理専攻 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の編成及び特色

システムエンジニアが取り扱う様々な業務において必要とされる数学的知識・方法を学び、数学の知識を有した高度な情報システムエンジニアまたは、高度な情報技術を身に付けた数学科教員の育成を目指したカリキュラムを編成します。

ビジネスの仕組みを理解するための経営分野の基礎的な内容、情報分野の基礎を築くコンピュータ・情報通信・ネットワーク、及び数学科教員として必要な内容を含む数学関連科目など、実践的な科目群でカリキュラムを構成します。

2. 教育の内容

本学の授業は、「教養教育科目」「専門教育科目」「教職に関する科目」に大別されます。

「教養教育科目」は幅広い知識の教授、知的訓練、社会の変化に対応できる資質と能力等を育成します。

「専門教育科目」は基礎・応用・発展の3つに分類され、学問の専門性を高めていくための学習を行います。

3. 教育の方法

本学の授業は、次の4種類の授業形態により実施します。

①印刷授業

- ・教科書・学習用プリントなどを基に自宅等で学習を進めます。
- ・2単位で90時間の学習を標準とします。

②面接授業（スクーリング）

・担当教員と対面で授業を行います。1単位で3日間(15コマ)、2単位で3日間(15コマ)または6日間(30コマ)、4単位で6日間(30コマ)の集中授業を行います。

③インターネットメディア授業

- ・eラーニング教材での学習を行います。
- ・課題や小テストなどを含め2単位または4単位で学習時間30～60時間相当の教材です。

④IPメディア授業（正科生Bのみ履修可）

- ・スタジオから教育センターへ向けインターネットを介した、生放映の授業を行います。
- ・2単位または4単位で15コマまたは30コマの授業を行います。

4. 学修成果の評価

学修成果の評価は以下の方法で行います。

①印刷授業、インターネットメディア授業、IPメディア授業

- ・原則、試験で評価します。

②面接授業

- ・試験のほか、成果報告・研究発表や実技により評価します。